



「若手クラブ」「広域クラブ」で 新たな取り組み

岐阜県 かがやきクラブ大垣（大垣市老人クラブ連合会）

クラブ数・225

会員数・14640名(男性・6564名・女性・8076名)



若手クラブによる健康ウォーキング



広域クラブも出演した芸能大会

課題に対応する 「活性化行動プラン」を策定

大垣市老人クラブ連合会は、平成18年の合併により、飛び地の旧上石津町及び旧墨俣町の老人クラブ連合会と合併して仲間づくりの輪が大きく広がりましたが、平成21年頃から、クラブ数及び会員数の減少が顕著になりました。

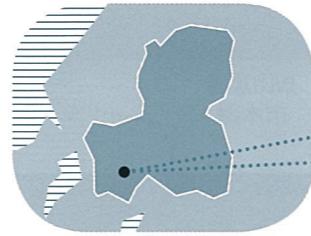
その原因を探るため、単位クラブ及び地区老連の活動状況等の調査を実施して、いくつかの課題がみつかりました。そこで、平成22年度から三か年の「活性化行動プランI」を策定し、三つの目標（魅力づくり、仲間づくり、リーダーの育成）を掲げ、新たな取り組みを始めました。また、25年度から新たな事業を始めた「プランII」を策定して、引き続き推進しているところです。

プランでは、団塊の世代を考慮して愛称を「かがやきクラブ大垣」とすることに決め、老人会あるいは老人クラブの言葉に抵抗があるという声に対応しました。愛称を使い始めて5年目になりますが、主催行方が新聞等に取り上げられることもあり、少しづつ市民権を得てきています。併せて、

単位クラブの名称に「かがやき」の文字を入れて名称変更するクラブが出てきました。

若手クラブの企画事業で 新たな風

リーダーの育成には、毎年、新任の指導者研修会を実施することで、クラブ運営に必要な情報を習得する機会を作っています。



岐阜県
大垣市

活動を続けたいという希望 に応えた「広域クラブ」

加者も増加傾向が続いている、前回は300人になりました。

さらに、軽スポーツの審判に力を発揮するなど、新たな風が吹いて、活動が活性化してきました。

また、概ね70歳以下の地区老連代表25人が構成する「若手クラブ」を設置して、若い会員の加入促進、軽スポーツの推進及び企画事業の推進など、次代のリーダーとして育成・活用をしています。

「若手クラブ」企画による健康ウォーキングは、現在3年目で5回実施しました。コースづくりには入念な下見を行い、地区を回ることで、その土地の歴史・文化・自然に触れることができます。参

会員の55%を占める女性部は、おたがいさま訪問（友愛訪問）、手作り作品の製作



国体に向けて、女性部によるティッシュケースづくり

及び交流会等で活動をより活性化し、活動の楽しさで会員増につながるよう取り組んでいます。その他、クラブ活動の情報発信をはじめ、パソコン研修、ゴルフ同好会、ボーリング同好会等、新たな魅力づくりにも取り組んでいます。

今年度からは「～めざそう!! 健康寿命日本～」かがやきクラブ会員増強運動計画」を策定しました。健康づくりにも力を注ぎ、新たな仲間を増やしてまいります。

（会長 早野正雄、事務局長 松岡照子）